



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER

Dojima Grand Bldg., 1-5-17

Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN

PHONE (06)344-1717

JULY, 1987 V-1



## 1987 ~ 1988 THEME

IP	互いに助けあおう	SUPPORT ONE ANOTHER
RD	青年と共に働くワイズ	HAND IN HAND WITH YOUTH
DG	新しい出発にむかって	TAKE PART IN A NEW START!
CP	味わおう、みんなで働く喜びを!	ENJOY WORKING TOGETHER!

EMPHASIS THIS MONTH : JAPAN.....キックオフの月(自信を持ってスタートする)

## Thought for the Month

So whatever you wish that men would do to you, do so to them; for this is the law and the prophets.

(MATHEW 7-12)

だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。これが律法であり預言者である。

(マタイによる福音書 第7章第12節)

### 今月の聖句によせて

福永兄からバトンタッチをうけました。まずはワイズ新年度のはじめの月。人生にとって根源的に重要な聖句、むかしから聖書のエッセンスといわれてきた、いわゆる Golden Rule (黄金律) をとりあげた。

孔子の金言に、「おのれの欲せざるところは、これを人にほどこすなかれ」とあるがイエスは「人々からしてほしいと望むことは人々にそのとおりにせよ」といわれた。前者は消極的、後者は積極的という差がはっきりしてい

る。内村鑑三は「人々から」を「神から」とすると意義がもっと深味をおびるといっている。イエスの初期の山上の説教のしめくりをする言葉であるといわれている。律法であり預言者であるとは聖書そのものを意味する。聖書を一言でいふならわすとするれば黄金律だといってよいと古来いわれたが人生にとって最高最善の道徳律ともなった。

鈴木 謙介



# THE CENTENNIAL

## 7月第1例会プログラム (Kick-offの月)

日時 昭和62年(1987年)7月15日(木) PM 6:30~8:30

場所 YMCA国際・社会奉仕センター(堂島)  
今月から会場が変わります。

歌唱指導(正司姉) 開会15分前より

司会 山田君

- |                        |       |
|------------------------|-------|
| 1. 開会                  | 会長    |
| 2. ワイズソング              | 一同    |
| 3. 聖句朗読                | 田中君   |
| 4. ゲスト紹介               | 会長    |
| 5. 日々の糧                | 一同    |
| 6. 晩さん                 |       |
| 7. 三浦君入会式              |       |
| 8. 会計報告                | 会計    |
| 9. 各事業計画発表(役員会, 委員会報告) |       |
| 10. お誕生日祝い             |       |
| 11. ニコニコ献金             | ドライバー |
| 12. YMCAニュース           |       |
| 13. 閉会                 | 会長    |
- 例会当番(第4班:山田, 上月, 田中, 坂口, 掛江, 杉浦の皆さん)  
準備, あとかたづけをよろしく。

## プログラム委員会から ご案内(予定)

- ★ 8月19日(木) 第一例会は恒例のビア・パーティです。
- ★ 9月16日(木) 第一例会は5周年記念例会です。

◎今から万障繰り合せての出席をご予定下さい。  
◎お誘いしたいビジターに今からひと声を掛けましょう。

### Statistics(統計)

6月例会出席状況 (在籍会員35名)		ニコニコ 献金	B F ポイント	ファン 6月末累計
メ ン	23名	6月 20,112円	切手	④ファン 337,634円
出席率	65%		現金 700pt	
メネット	1名		現金 1,840pt	
コメント	0名	累計	B F累計	⑥ファン 225,650円
ビジター& ゲスト	1名		切手 900pt	
計	25名		現金 3,140pt	

(切手提供者) 掛江, 黒田, 正司, 杉浦, 鈴木, 多田, 中村, 村田, 森, 山田

今後は、普通切手・記念切手・外国切手を問わず集めて下さい。1Kg=1,000ptと目方で勝負です。はがしたり、洗ったりせず台付のまま、周囲を0.5~1.0cm残して切りとったものを集めて下さい。当然切手にキズのないことです。

## NEWS IN BRIEF

☆ 6月17日(水) 第一例会



インド・エリア大会の報告をする真島主事



新旧会長交代式で 森-杉本

## 日本区情報

### 第58回京都国際大会 ご参加 国内参加者 登録金及び旅行費積立プラン

1. 期間(切 62年6月28日申込書必着)  
昭和62年8月~63年6月 11ヶ月
2. 積立額(3コース)

満期額	1ヶ月積立額	サービス額
¥50,000	¥4,424	¥1,336
¥70,000	¥6,194	¥1,866
¥100,000	¥8,848	¥2,672

3. 支払, 積立方法  
各申込者の銀行口座又は、郵便預金口座より自動引落しで便利。
4. 満期引渡し方法(7月10日~15日頃)  
ギフト旅行券にて引渡し、又は、自動的に登録料と、ホテル予約金に充当が可能です。
5. 申込, 問合せ先

〒600 京都市下京区東塩小路町

日本交通公社 京都支店 ワイズメンズクラブ係  
TEL (075) 361-7241

担当: 湯本, 三上, 後藤

国際大会に多くの方々が参加され有意義な大会になりますよう便利でお得な、積立プラン“たびたび”に是非ご加入下さい。

## 今月のことば

## 会 長 方 針

杉 本 恭之助

わが大阪センテニアルクラブは、誕生以来僅か5年足らずの間に、まさに急成長を遂げて参りました。これは一途に歴代会長のよきリーダーシップとメンバー各位のご尽力の賜物と、共に感謝し共に喜びたいと思います。しかしながら5年と云えば、やはりクラブにとっては第1回目の大きな節目に当たる大事な年度ですから、これを契機に、過去歩んで来た道を顧み足もとをかためつつ、そして将来に向かって一層の飛躍を期するいわばキッカケをつくる年度としたいと思います。日本区理事方針に則り、当クラブの現状の課題を踏まえながら当年度の会長方針を以下の通り策定しました。あくまでワイズメンらしく、フェロシッポを基盤にして、メンバーみんなと一緒に楽しく推進して参りましょう。

## 1. クラブ体質の一層の強化

もう一度原点に戻って基本を忠実に実行すること。まず“出席第一”を旨とし、会員意識の昂揚を図りたい。そのためにも例会内容の充実を心掛けねばならぬことは論を俟ちません。その上でメンバー数を着実に増やして行くべきです。

## 2. 事業活動の活性化

“全員参加・全員参画”により、各事業委員会がもっと機能するよう運営の強化を図ると共に、“全員働きびど”となって自らそれぞれの事業を体質化することを通して事業活性化に資したいと思います。

○ 特に当年度はYMCAサービス事業に力点を置き、その一環として青年との接触、交流を深め、共に語り共に働く機会を是非作って参りたいと思います。

又同時に、国際的な関わり合いについても深めるよう努力したい。即ち国際大会が来年7月日本の地で開催される直前の年度として、例えば各IBCとの提携のあり方などについてもさらに一步掘り下げて行きたいと思ひます。

## 3. 当クラブらしい創立5周年記念事業を

5年間の歴史を再確認すると共に、将来一層の発展に資するため、当クラブらしく実質的な記念事業を衆智を集めて企画、実施したいと思います。

## 4. 努力目標

- 出席率 平均80%以上
- メンバー増加 4名

## B F 代表ニュース

5月20日から6月10日にかけて、インド、エジプト、アメリカからBF代表の方々が来日。三代表はそれぞれ分散して、東京、熊本間で行われた数十からの例会や行事に参加。わがセンテニアルでは、5月27日 Mr. Verghese (インド) を迎え、第二例会を開催。例会後、近くのレストランで食事を共にし、更に交流を深めた。鈴木謙介宅ではホームステイを、森会長(直前)にはお見送りなど、それぞれお世話いただいた。

## CALENDER OF EVENTS

## ○ 第37回中西部会

新しい出発(たびだち)に向かって

日時 昭和62年9月23日(祝) 午前10時～午後3時  
会場 和歌山ターミナルホテル(JR和歌山駅前)  
会費 メン・メネット 5,000円 コメット 2,000円

## ○ '87アジア大会

日時 10月16日(祝)～18日(日)  
場所 マニラ

費用 Aコース 106,000円 Bコース 183,000円

## ○ 京都ウイングワイズメンズクラブチャーターナイト

日時 1987年11月21日(出) 5:30PM～  
場所 京都国際ホテル



# THE CENTENNIAL

## IBO WORLD NETWORK



## ハワイ区の新旧役員紹介

近着のハワイ区報が、1987~88年度のハワイ区のクラブ会長、その他役員名を紹介しています。私たちのブラザー、ヌアヌ・クラブもリスト・アップされています。ヌアヌの会長は、以前書記をやっていたフィリス・サカネさんです。女性会長の登場です。乞御期待。

お祝いのメッセージを贈りたいと考えます。

Presenting...the 1987-88 Club Officers.....

CLUB	PRESIDENT	VICE PRESIDENT	SECRETARY	TREASURER
Atherton	Francis Suganuma	Daryl Arakaki	Ricky Fujita	Joanne Koga
East Kauai	Arthur Trask, Jr.	Marvin Dye	Donna Schulze	Kenneth Kanenaka
Hilo	Toshi Kawasaki	Ben Fujise	Harold Yamaguchi	James Fujimoto
Kaimuki	Ray Seto	Roland Sagum	Brian Shimabukuro	Reuben Naholowaa
Maui	Richard Yamasaki	Diki Sugawa	Fred Tamasaka	Warren Orikasa
Nuuanu	Phyllis Sakane	Naomi Aimoto	Julie Shimonishi	Rhonda West
West Oahu	Walter Osakoda	Dennis Kuwabara	Duke Chung	Duke Chung
Windward	Conrad Tsukayama	James Kanehira	RS Deborah Lichota	Howard Nakashima
PE	Jay L. Andrews		CS Erin Merriam	

もしもし  
杉本です。

ごきげんいかが？



多田さん(6/14)

仕事が忙しい上に、最近哲学的な問題と取り組んで、セミナーなどに出ているせいかこのところちょっとぼて気味です。しかし6月例会には必ず出席します。

## HAPPY BIRTHDAY

小林 喜自夫 君	7. 18
多田 幸子 メネット	7. 22
皆本 恵子 メネット	7. 29

## CENTENNIAL EYE

### 利息と罪の意識 (その二)

谷川 寛

前回、「利息」とか「金利」について、キリスト教が歴史的にどのような判断をしているのかについて書きましたが、その際、回教の考え方にも触れました。

最近の日本経済新聞に、興味ある記事がありました。御一読下さい。

**新聞 コーラン お手あげ**

「今後は金利の支払をめぐり銀行と借手の間のトラブルは、イスラム法では厳格に、民事法にゆだねる。UAE(アラブ首長国連邦)のサイト大統領はこのほど、イスラム教の聖典コーランが金利を不当所得として戒めるため、利息の支払に拒否権を出し、金融界の場を争奪する例が少なかつた。

（ハリーン・監訳）

## 日本区

## 年間の強調テーマ

- 7月 キックオフの月（自信を持ってスタートをする）
- 8月 平和の月（国際理解、協力を進め平和を考える）
- 9月 YEEPの月（留学生との交流を図り事業の推進）
- 10月 ウェルネスの月（例会にウェルネスプログラムと地域にPRを）
- 11月 BFの月（事業の理解と交流を）
- 12月 IBCの月（クリスマスカードの交換を通してコミュニケーションを）
- 1月 キリスト教精神強調月間（YMCAを通してその源の理解を）
- 2月 タイムオブファーストの月（豊かさと生かされている喜びに感謝を）
- 3月 ASFの月（YMCAに強力な人材を）
- 4月 研修の月（リーダートレーニングを通して自己改善を）
- 5月 メネットの月（ワイズメンとして感謝を）
- 6月 チャレンジの成果を日本区大会で分かち合う喜びを



## GOINGS & COMINGS

- ☆ 眞島君  
インド・エリア大会参加及びエルナクラム（ブラザークラブ）訪問のため、インドに出発しました。訪問記は8月号をおたのしみに。
- ☆ 谷川君  
国際議員として4年間。そしてTOF国際事業主任として3年間奉仕された。これに対して日本区から表彰されました。
- ☆ 日本YMCA同盟委員会（6月20日、21日於東山荘）に鈴木、杉本、谷川の3委員が出席した。
- ☆ 第4回中西部評議会に平田、藤井、松本、山村、中村君ら5名が出席した。

## 第42回日本区大会 史上最大で閉幕

1,100名の参加者

1987・6・6～7

大阪センテニアルからの参加者

谷川 寛	鈴木 謙介
鈴木 美藤	山田 孝彦
山田 道子	山田 典彦
山田 秀光	山田 純子
山田 貴嗣	杉本 恭之助
森 庄司	森 晴美

大阪センテニアル ブリテンとBFに入賞

心を一つにチャレンジ  
FOR ONE AND FOR ALL THROUGH THE Y'S DOM



心を一つにチャレンジ  
FOR ONE AND FOR ALL THROUGH THE Y'S DOM



## CENTENNIAL GALLERY

どうしまァ?!

### “カテイ・サーク号物語”

谷川 寛

ロンドンの南、テムズ川の南岸に、あのグリニッチ標準時でおなじみのグリニッチ天文台がある。今は観測環境の悪化から、遠くサセックス州に移されている。しかし、グリニッチ標準時間と子午線は、あいかわらず、こゝを基準にしている。この近くのグリニッチ栈橋に、帆船カテイ・サーク号(The Clipper Ship the Cutty Sark)が係留されていて、内部は博物館になっている。

このカテイ・サークという名前で、ウイスキーを思い出す人も多いと思う。あの黄いラベルのスコッチ・ウイスキーでお馴染みのはず。このカテイ・サーク号は1869年に進水した。当時、中国、セイロンからの紅茶の輸送

に大活躍をした。最高で一日600キロ帆走したという。

へさきの頭首はNANNIE(ANNAのNICK NAME)と呼ばれる若き魔女である(写真のへさき部分)。スコットランドの詩人、ロバート・バーンの作品、“Tam O’Shanter”に出てくる。この魔女が着ている短いスリッパを“カテイ・サーク”と呼ぶそうで、この船は日本語で云うなら“女性の下着号”。みなさんが、新地のバーで毎晩飲んでいるのは“女性の下着”という名のウイスキー。

さて、このカテイ・サーク号、スペイン、ポルトガルの時代が終り、英国がこれにとって代って海外雄飛をはじめた頃の物語である。グリニッチには、他にグリニッチ宮殿、海洋博物館、ROYAL NAVAL COLLEGE などがある。中産階級の家多く、こゝからロンドンに通勤している人も多い。



カテイ・サーク号の船尾と私



カテイ・サーク号のへさきの頭首に若き魔女が見える



事業委員会		(○は委員長)
BF	○山田, 多田, 藤井	☆次の方々は特定の委員会に属さず、広く事業の運営に御協力願います。
YEEP	○堀, 浦野	
ASF, YMCA	○中村, 田中, 山田	
IBC	○松本, 谷川, 横山	
Bulletin	○川越, 柴田, 上月	
CS	○黒田, 小林	
Program	○杉浦, 鈴木, 村田	
EMC	○掛江, 平田, 中川	
Fund	○河野, 中村	
Driver	○藤本, 森	
MET	○正司, 松添, 福永	
Menettes	森, 鈴木, 杉本	照屋, 長安 桂, 瀬戸 坂口

☆5周年記念事業準備委員会

委員長 藤井

委員 山田, 眞島, 掛江, 村田,

### 1987~1988 役員 (Officers)

会長	杉本恭之助	担当主事	眞島 克成
副会長	平田 雅利	幹事	鈴木 謙介
“	正司 泰子		谷川 寛
書記	掛江 康一		中村 隆幸
“	杉浦眞喜子		山田 孝彦
会計	山村 幸明		森 庄司
		直前会長	森 庄司

編集後記 — 苦情を含めて、ご意見などお寄せ下さい。ブリテンに関するご連絡は下記へ。

電話 (06) 441-0015 } 川越  
FAX (06) 445-8871 }

(不在時は三浦まで)